

第 5 回 天神川水系土砂管理連絡協議会 議事概要

1. 日 時：令和 6 年 12 月 12 日（木） 10:00～11:30

2. 場 所：倉吉河川国道事務所 1F 第 5 会議室及び Web 開催（Microsoft Teams）

3. 出席者

・鳥取大学 学術研究院 工学系部門

教授	黒岩	正光
教授	三輪	浩
准教授	梶川	勇樹
准教授	和田	孝志
主任研究官	赤澤	史顕
主任研究官	田端	幸輔
課長補佐	河本	大志
課長	山本	健司
課長	藤井	和正
課長補佐	蔵増	繁幸
課長補佐	高木	雄次
室長	岡本	圭司
課長	村尾	修一
課長補佐	椎木	孝三
係長	端詰	将範
課長	中口	寛
課長補佐	林	照悟
副局長	瀬村	正樹
課長	廣田	繁雄
課長補佐	田中	誠
課長	佐々木	明仁

21 名出席

・国土交通省	国土技術政策総合研究所	砂防研究室
・国土交通省	国土技術政策総合研究所	河川研究室
・倉吉市	建設課	
	地域整備課	
・三朝町	建設水道課	
・湯梨浜町	建設水道課	
・北栄町	地域整備課	
・鳥取県	県土整備部	河川港湾局 河川課

治山砂防課

・鳥取県	中部総合事務所	県土整備局
		河川砂防課
・鳥取県	企業局	工務課
・鳥取県	中部総合事務所	農林局 林業振興課

・事務局：倉吉河川国道事務所

河川管理課	副所長	稲田	一敏
	課長	松尾	至哲
	係長	中尾	勇貴
	係員	小山	大貴
	係員	松尾	智哉

4. 議事内容

- （１）天神川水系土砂管理連絡協議会 規約の確認
- （２）第 1 回 天神川水系土砂管理技術検討会の討議結果
- （３）天神川水系における土砂管理対策の検討方針について
- （４）土砂管理計画（案）について
- （５）今後のスケジュール
- （６）意見交換

5. 配布資料

- 資料-1 天神川水系土砂管理連絡協議会 規約（案）
- 資料-2 第1回 天神川水系土砂管理技術検討会 議事概要
- 資料-3 天神川水系における土砂管理対策の検討方針（案）
- 資料-4 天神川水系土砂管理計画（案）
- 資料-5 今後のスケジュール
- 参考資料-1 第1回 天神川水系土砂管理技術検討会資料
- 参考資料-2 置土位置の選定資料

6. 会議概要

天神川水系において、技術検討会での審議結果を踏まえ、河道二極化現象、海岸域への土砂供給への課題を提示し、土砂、土砂移動現象の把握等の検討の方向性について説明した。出席者からの学術的、技術的内容の意見、助言をいただき、これを資料へ反映すること、今後の技術検討会に向けた整理項目について確認を得た。

【出席者からの主なご意見】

- (1) 資料-1 天神川水系土砂管理連絡協議会 規約（案）について

特になし。

- (2) 資料-2 第1回 天神川水系土砂管理技術検討会 議事概要について

特になし。

- (3) 資料-3 天神川水系における土砂管理対策の検討方針について

Op9 二極化の選定箇所の考え方についてポンチ絵を入れて説明したほうがよい。

→承知した。（修正資料対応箇所：P9）

Op14 天神川の右岸側（令和5年度あたり）は、後退傾向である。橋津川河口や羽合漁港の砂をサンドリサイクルしている。

→砂浜の傾向と合わせてサンドリサイクルについてもコメントします。

Op19 一般的なメカニズムを記載していると思うが、今後の天神川のメカニズムについては、どのように整理するのか。現状の二極化されていないところについては、河道幅と水面幅で評価したものという認識でよいのか。

→今後開催する第2回技術検討会で二極化の整理をします。河道幅と水面幅の評価は、現状で二極化と判断できるところを整理した認識です。

Op21 砂防堰堤の堆積土砂は、下流域への供給には使用できないのか。また堆積している土砂は撤去するのか。

→粒径が大きいものもあり、選定して供給することが必要です。また、砂防堰堤の堆積土砂は、災害等で堆積したものについては、撤去していく方針です。

Op21 砂防堰堤のスリット化の方針は、供給との因果関係が明確であるのか。明確でないなら文言を修正したほうが良い。

→土砂動態モデルでの表現は、難しい状況であり、黄色ハッチ箇所の文章を精査します。

（修正資料対応箇所：P21）

Op22 供給土砂量の部分は、河道内の補捉量としてとらえるべきではないか。また、出水による影響があることも含めて、文章を精査するほうがよい。

→ご指摘のとおり修正する。（修正資料対応箇所：P22）

Op27 置土に使用する土砂の採取場所はどこか。また、設置する予定の粒径加積曲線を示してほしい。

→河道内の掘削で発生した土砂を使用する予定です。粒径加積曲線については、示すようにします。

（修正資料対応箇所：P27）

Op27 置土の設置場所について、場所や浸食方法を踏まえて整理してもらいたい。また、掃流力も示してほしい。

→場所については、流下能力に影響を与えないところ、置土が流出する流量を踏まえて、設置できる場所を選定しています。浸食方法や掃流力については、技術検討会で詳細を整理します。

Op30 置土検証の平面二次元モデルの妥当性を整理した資料に凡例をつけてほしい。

→承知しました。（修正資料対応箇所：P30）

（４）資料-4 天神川水系土砂管理計画（案）について

Op30 実施している掘削形状等についても土砂管理計画には、記載するようにしたほうが良い。

→実施例も含めて、掲載を検討します。

（５）今後のスケジュール

令和６年２月技術検討会、令和６年３月連絡協議会を予定していることについて了承をえた。

（６）意見交換

特になし

以上